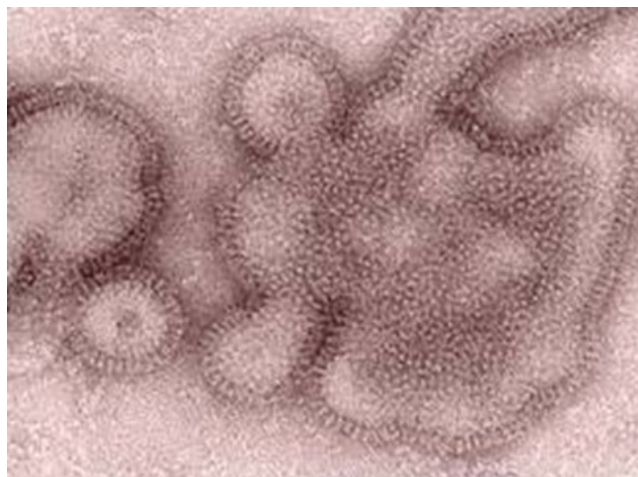


流行の拡大が懸念される新種の豚インフルエンザH3N2vの情報

感染制御部



米国で、新種の豚インフルエンザウイルスによる豚からヒトへの感染が拡大しています。このウイルスはA型のインフルエンザでH3N2型に分類され、H3N2変異型（H3N2v）と名付けられています。このタイプは、A香港型と同じですが、異なるウイルスです。今月は、このウイルス感染症に関するこれまでの情報をまとめて紹介します。

すでに、2011年にもこのウイルスによる豚からの感染は散発的に少数例認められていました。米疾病対策予防センター（CDC）は、2012年8月3日、新種の豚インフルエンザH3N2vについて、この週に新たに12人の感染者を米国内で確認したと発表しました。12人の内訳は、ハワイ州で1人、オハイオ州で10人、インディアナ州で1人でした。1週間後の8月9日に、CDCは再び、米国内で新型の豚インフルエンザウイルスH3N2vに感染する人が急増していると発表しました。8月3日には感染者は16人だったのが、1週間で145人に増加、9倍に増えたことになります。そして1週間後の8月16日には感染者はさらに225人まで増加しています。表1に8月16日にCDCが発表したこれまでの米国内でのH3N2v感染確認症例数を示します。患者の状態はすべて軽症だということで、225人中8人が入院しましたが、死亡者はいません。いずれも豚のいる農業祭イベントへ参加しているなどの経緯があり、豚から直接感染したとみられています。感染者の9割以上が子供です。

このウイルスには、2009年に大流行したインフルエンザウイルス（H1N1）の遺伝子の一部が混ざっていて、人間同士の感染はまだ確認され

H3N2vヒト感染が報告されている州	2011年	2012年 (8月16日現在)
ハワイ		1
インディアナ	2	138
イリノイ		3
アイオワ	3	
メイン	2	
ミシガン		1
オハイオ		72
ペンシルベニア	3	4
ユタ		1
ウエストバージニア	2	3
ウイスコンシン		2
計	12	225

表1 H3N2vヒト感染の報告事例数

ていませんが、CDCは「感染しやすい性質に変わる可能性がある」として警戒しています。

以上の情報から、新種の豚インフルエンザH3N2vは豚から直接ヒトへ感染するものの、いまのところヒトからヒトへの感染は確認されていません。しかし、極めて警戒が必要な状況ではあると思われます。毒力は通常の季節性インフルエンザと変わらないようで、たとえ、ヒト-ヒト感染が起こったとしても、2009年の豚由来のH1N1と同じ程度と考えられます。また、先述したように子供に主に発生しており、CDCの情報では、米国の成人は、すでに抗体を持っている可能性が指摘されています。

迅速診断についての感度は調べた範囲でまだ報告されていませんが、理論的にはA型のインフルエンザとして診断可能であると考えられます。治療についてはアマンタジンには耐性があるようですが、タミフル（オセルタミビル）、リレンザ（ザナビル）は有効です。

この話題につきましては、今後も注意深く情報を収集し、変化がみられましたら、マンスリー等で順次報告していきたいと思います。

